

【単元のポイント】

小数のかけ算・わり算

4年生 算数 第12単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【A 数と計算】A(5) 小数の計算

乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 小数 \times 整数、小数 \div 整数の筆算ができる
- 小数点の位置を正しく決められる
- わり算のあまりの小数点の位置がわかる

【思考・判断・表現】

- 整数の計算と関連づけて考えられる
- 小数点を移動する理由を説明できる
- 答えの見積もりができる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 整数の計算を活用しようとしている
- 計算の確かめをしている

◆ 指導上の留意点

1. 小数 × 整数の筆算

- 整数と同じように計算する
- 小数点はもとの小数と同じ位置にうつ
- 例： $2.4 \times 3 = 7.2$

2. 小数 ÷ 整数の筆算

- 商の小数点はわられる数の小数点の真上にうつ
- わり切れないときは 0 をおろして計算を続ける
- あまりの小数点はわられる数の小数点と同じ位置

3. つまづきやすいポイント

- 小数点の位置を間違える
- わり算で商の小数点を忘れる
- あまりに小数点をつけ忘れる
- $0.1 \times 3 = 0.3$ の意味がわからない

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 段階的な導入：真小数 → 帯小数、かけ算 → わり算
2. 筆算スペース：十分な書き込みスペースを確保
3. 小数点の強調：色付きで小数点位置を意識させる
4. あまりの問題：あまりの小数点位置を問う
5. 文章題：買い物など身近な場面